

令和4年3月各会計予算質疑

○普通財産管理経費 旧高蓋小学校の解体を

木野山

旧本庁舎の活用において、町内各所に分散して保管している備品などを旧本庁舎に一括して保管する。との事ですが、具体を。

瀬尾総務課長

旧高蓋小学校の校舎の中に配置している備品を本庁舎のほうへ移管します。また共同福祉施設の建物についても移管の必要なものについては本庁舎の方へ移す予定です。

木野山

旧高蓋小学校の中にも備品がたくさん保管されていますが、全て本庁舎へ移管されると、老朽化が激しく一部廊下部分の雨漏りや壁の崩落など危険な個所が多くあるので、解体処分していただきたいとの地元要望もある。出来るかできないのか、旧高蓋小学校の解体処分を早急に検討していただきたい。

瀬尾総務課長

現在、ある民間事業者からの申し出があり、この建物を使って事業を起こしたいという話がある。これは令和3年度のことで、今この業者と調整中です。

今後どういった方向性になるかは分かりませんが、可能ならば令和4年度から、この事業者を活用していただけたらと考えている。したがって、この建物の解体は考えていない。

今後はこの事業者の活用を優先的に考えていきたい。

木野山

分かりました。私は地元の議員のくせに何も知らず申し訳ありませんでした。以前、2～3の企業から要望もあって紹介したことも有りましたが、近年そういった声を聴かなかったので、上の体育館はお使いになっていますが、校舎はかなり傷んでいるので、地元の方に聞くと日当たりは悪いしもう用事はないし早く解体してほしいと言われ、周りの木も切った事だし、この質問をいたしました。

有効活用ができるなら、しっかりと使って頂き、地元の活性化にもつながりますのでよろしく願いしたい。

生活交通機関確保事業 本庁舎～福山駅前間のバス運行は

木野山

先般、バスの運行休止の件で、本庁舎を通るバス便について「町有バスで運行は出来ないのか」と質問したこともありますが、その後何も回答はないと言うか出来ないとの回答もあり頭を痛めています。令和4年度の計画にも載っていません。

本庁舎前を通過する町営バスの運行は、諦めたのか。

瀬尾総務課長

庁舎・病院が新しくなり、ここの前を通る路線バスの運行についてですが、昨年的一般質問にもあったかと思いますが、結論的には、非常に利用実態がなかった。廃止になる年の昨年1月の調査結果にも明らかですが、一日一便の運航でしたが利用が0.1人で一人も乗っておられない日があるという事です。

運行すれば、町の利便性は向上しますが、バスの運行が出来ればと個人的には思いますが、実際に運行した場合どれだけの利用があるかは非常に不透明です。今のところ、地域の方からもこの路線を新たに走らせる便を創設してほしいという要望も直接に総務課には入ってきていない状況です。また、高校生の利用が路線バスには多いのですが、その高校生の利用もなかなか見込まれない状況もあり、たとえ走らせたとしても経費が700万円程度必要ですし、補助金も当てに出来ない状況であり、総合的に考えると非常に困難な状況と思っています。

今後については、どういった手法で町の中核である庁舎病院にアクセスできるかは検討していきたい。

木野山

費用対効果とか需要の面で致し方ないのかなと理解はしましたが、本庁舎と病院があつて、以前ゆっくさんのバスが出ていた時はかなりのお客さんがお乗りになっていたと記憶にあるので、バスが走れば何人かのお客さんは見込めるかとも思いましたが、残念です。改めて検討もされるという事なのでよろしくお願ひしたい。

チャレンジファンド運営事業 当初予算の運営経費は不要では

木野山

令和3年度3月補正に於いて560万円追加補正しました。答弁では担保として820万円計上しているのので寄付でもあれば減額するとのことでした。

当初予算の820万円は不要では。

運営費は年間500万円程度です。従業員2名体制でそれほど掛かっていない。

池田政策企画課長

運営費は、人件費その他経費を含め年間670万円程度掛かっています。これはチャレンジファン
ドへの寄付などの財源で賄ってきています。今年度と昨年度は繰り入れ補助は行っていませんが、
今回の560万円については、企業版ふるさと納税500万円が運営費指定を頂いており、令和3年
度の運営費に充てさせて頂こうと考えています。

当初予算の820万円は、700万円が運営費、120万円が経営支援となっており、寄付額によって
は減額もおおうと考えていますが、当初予算の820万円は担保として計上させていただきます。

木野山

計画書によると追加補正の560万円は収入に載っていない。差し引きで120万円が余ってくる。
足りるか足りないか微妙な金額だ。ある意味では不必要な予算だと思います。
こちらでも検討してみたい。

特定地域づくり事業協同組合運営事業 設立に向けて

木野山

この事業組合は、本年度中の設立稼働が必至ならば、昨年度は説明会を2回開催されており商工
会関係者も出席し説明を聞かれている。関心のある企業は大体特定が出来るので、その企業に対
しアンケートを取るか企業を回わられて、従業員の必要な時期など細かく分析し、その分析に基づ
き、具体的に各企業のマッチング作業を行うなど、事業として即動くというか、攻めの事業展開をす
べきと思う。この度の HP で再度募集を掛けるという事業展開では、再度もう一度動くというよう
なイメージしかない。前へ前へと進んだらどうか。

池田政策企画課長

昨年2回の説明会で概ねニーズが分かっているのではないかと、との事ですが2回の説明会で、3
か所の方、農業団体を中心に集まられた。商工関係の方々の掘り起こしニーズの聴者が完全に出
来ていない。議員のいわれる作業内容、運営条件、ニーズの部分を具体的に聞き取り・アンケート
など行って各企業の個別ニーズ、条件の把握が出来ていない。これを令和4年度の上半期の内
に行いたい。言われるようにやっていきたい。その上でマッチングの部分に於いて、これならいけると
見極めた段階で、早期に補正予算を組ませていただき本年度の設立を目指す。という方針です。

木野山

イメージ的には合ってきている。先進地の視察なども行い、具体的に先進地がどういった課題を持
っているか、そこまで踏み込んで、組合を作られるよう要望しておきます。補正はいつでも賛成しま

す。

観光事業経費 恋人の聖地登録地域との交流

木野山

恋人の聖地として全国で登録を行っている市町と連携し交流しながら事業展開を行うことがメインと思いますが、パンフレットによると事業目的が「結婚・出生率の向上」に向けてという文言が最初に出てくる。

関係市町との交流人口を増やすのがテーマでなく如何に結婚して頂きパートナーを作り、出生率というから子供を産んでいただくという事が初めから目的となった事業なのかなと思いました。

こういった事についてはわが町も色々な事業に取り組んでおり、先般の説明では、説明パンフレットにおける青く括弧で括った部分が今まで行ってきた事業であり、それを基にその下側の新しい事業に取り組むとの事でした。今まで行った事業で、結婚率、出生率を上げるためにどうだったのか、検証したうえでこの事業に取り組むことが、具体化なのかなと思います。

こう言ったイメージを持ちましたが、これで良いか。

池田政策企画課長

今回の広域連携の自治体に参画するか否かの判断をするにあたって、事務協に問い合わせた。書いてあるように「出生率の向上と関係人口の拡大」をテーマとした地方創生交付金の広域的な活用という観点を持っている。との事だった。

出生率の向上も一つのテーマとしてあるが、この部分も大事ですが、本町といたしましてはこの部分はKPIの仕様を行っていない。半分以上の自治体は、「関係人口の拡大」をテーマとしており、今後「出生率の向上」をテーマにする場合は青い部分へ新しい事業に取り組むこととなります。

これまでの事業の検証については、この3～5年計画なので、必要な事業かどうかは検証することが必要と考えている。

木野山

出生率がどうのこうのと言ってくると微妙なテーマとなってくるので、危ないなと思っていました。

関係人口の拡大の方へ力を入れ、行う方がよいと思います。

恋人の聖地である全国14市町も、それぞれに自分のところへ呼ぼうという目的をもって事業を展開する訳ですから、やり負けないようにしっかり向こう側から取るように積極的な事業展開をお願いしたい。

国から250万円貰って500万円支払うわけですから。費用対効果がしっかりと上がるように頑張ってもらいたい。

企画一般管理経費（DX 推進事業）

木野山

委託先はどこなのかが疑問に思っていた。申請中で具体的には決まっていないとの事ですが、182ステーションでいろいろな取り組みをされていますが、DXの関係でそれを提案した企業に委託されるのではないかと思いましたが、この解釈で良いか。

岡崎未来創造課長

182ステーションと一緒に事業を行っている企業も候補の一つと考えているが、事業を実施する段階で首都圏などに本拠を置く企業さんに募集を掛けたいと思っている。まだ決定をしているわけではない。

源流の里維持再生事業(地域起こし協力隊活動) 文化財資料整理

木野山

DX関連で、未来創造化にて一人を、伝統文化デジタルアーカイブのために採用されますが、文化・伝統の資料収集整理は既に何年も前から文化財の関係において地元の方々で資料整備・整理を行っています。積み重なっている。この作業とアーカイブの作業はどこが違うのか。この資料集積したものをデジタル化すれば良いだけであって、別に企業人に頼まなくてもできるのではないか。

岡崎未来創造課長

今まで整理してきたものについては、ひとつは物として整理されている。ものとして整理してきたものは劣化していくので、それをデジタル化する。また、今まで整理されていないもの、例えば、口承(口で伝わってきたもの、言い伝え)、歴史的な民族、民の生活で文化財として整理がされていないものが神石高原町には沢山あります。こうしたものを、デジタル化し残していくのがこの事業の考え方であり、そういったものを専門的にお願いしたい。そういった事で地域おこし企業人を採用したい。

木野山

今までの資料収集したものはこの事業の基になる部分でありこれにプラスアルファで色々とデジタル化をすると理解しました。口伝えとか色々な本になったり食材とか色々な資料があるのでそういったものを含めて残す。こういった事が出来る立派な方が居られるのか。

岡崎未来創造課長

今、募集しており一名応募があった。今月末、面接する。事業に適えば採用し5月から取り組みたい。

木野山

西川化石館もきれいに整理され、この方が居られなくなるのは非常に残念だ。こういった素晴らしい人材を是非とも採用して頂きたい。

デジタル技術を活用した中山間地域生活環境向上事業 オンライン診療について

木野山

新たな予防医療の仕組みづくりのための実証実験と有りますので、指定するモニター者(20人)は指定病院である旧スズキクリニック医院、今のへき地診療所病院の患者さんに限ると理解してもよろしいですか。

松井保健福祉課長

そういう風に考えていない。今回のこの事業は実証実験という事です。オンライン診療指針が今年一月に大幅に改正された。コロナ禍においてオンライン診療が促進されていますが、さらに加速化させることを厚生労働省も考えられている。スズキクリニックに掛かられている方に限らず、大幅にお願いすることで、課題も見えてきますしこれなら案外使えるなというような見通しも立つのではないかと考えている。